

排気用回路キット取扱説明書



組み上げタイプ 回路キット



バルクタイプ 回路キット

構成内容

①6単独・連続排気回路 ……1個

- ・350mmシリコンチューブ ……6本
- ・175mmシリコンチューブ ……1本
- ・50mmシリコンチューブ ……4本
- ・Y字コネクタ ……5個

②結束バンド ……3本

※バルクタイプは部品単位の包装になります。

特徴

バッグを6個までの単独・連続吸引システム[※]を組むことができる回路キットです。

※単独吸引システム: ON-OFFバルブで一つ一つのバッグに吸引する方式
連続吸引システム: 連結チューブで各バッグを接続することで、複数のバッグに連続的に吸引する方式

チューブを切ったり、組み立てたりする手間がかかりません。

2又-Y字のチューブ回路を基本セット(2バッグ)にして、組み合わせて使用します。

排気用回路キットによるアレンジ

6/バッグ



ON-OFFバルブによるシングル吸引を
組み合わせて使う回路キットです

4/バッグ

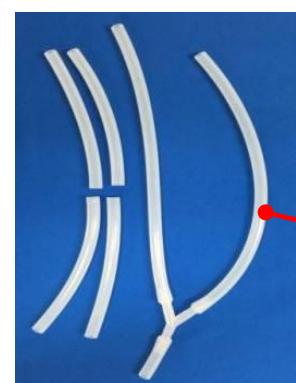


ON-OFFバルブ同士を
2又-Y字チューブでつないで下さい

3/バッグ



シフトバルブによる切り替え式
2×2/バッグ

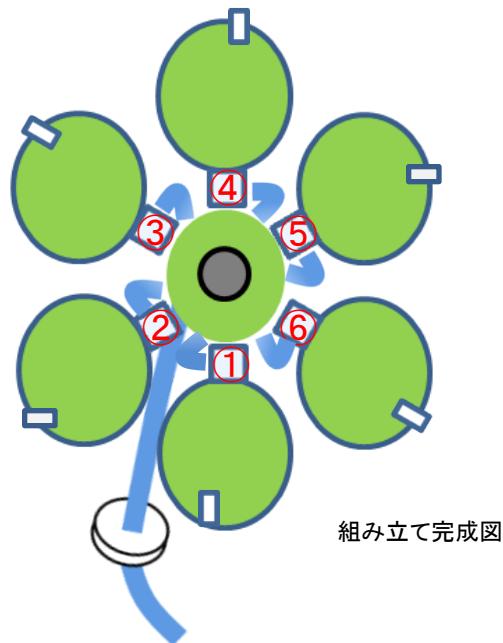


長さ350mmチューブを
半分に切って使います

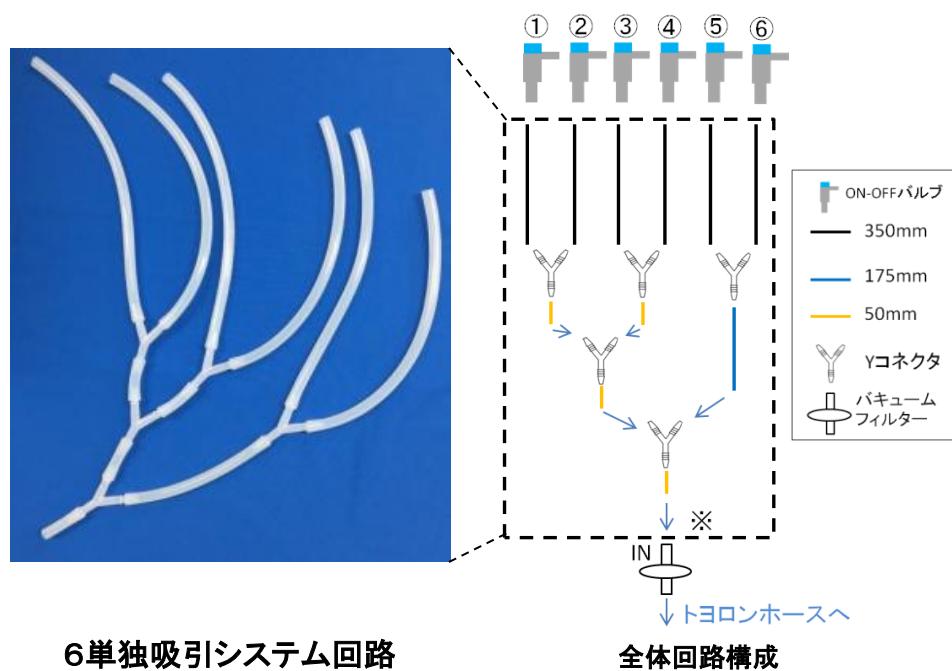
キャニスターの背面を通すようにして
チューブをセッティングして下さい

I. 6単独吸引システム

ON-OFFバルブの単独吸引システムをキャニスタ6個まで接続することができます。
 (ON-OFFバルブがONのバッグにのみ吸引されます。)



回路構成

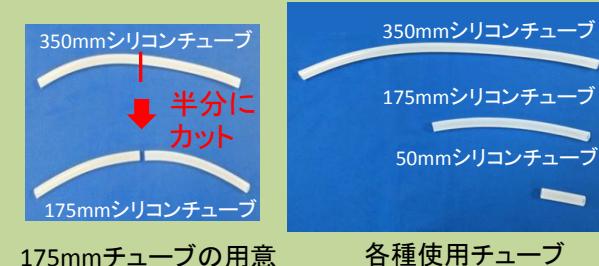


組み立て手順

(1) トローリーにキャニスタを取り付け、各キャニスタにON-OFFバルブを取り付けます。



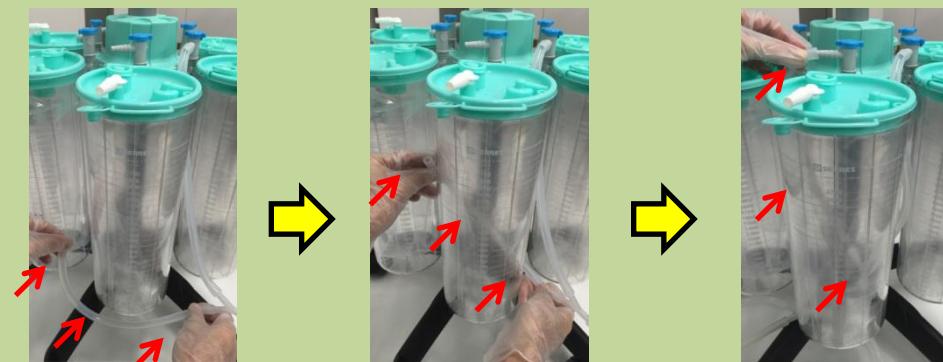
(2) 6単独吸引システムの回路を用意します。バルクタイプでは350mmのシリコンチューブを半分に切って175mmのシリコンチューブを1本用意します。各チューブを使って【回路構成】の項を参照して組み上げて下さい。



組み上げタイプの回路=6単独吸引システム回路

バルクタイプの回路準備

(3) 完成図の①~⑥の順番でチューブをキャニスタの下から通すようにしてON-OFFバルブに接続します。(回路全体が支柱を中心に時計回りに巻きつくような形になります。)

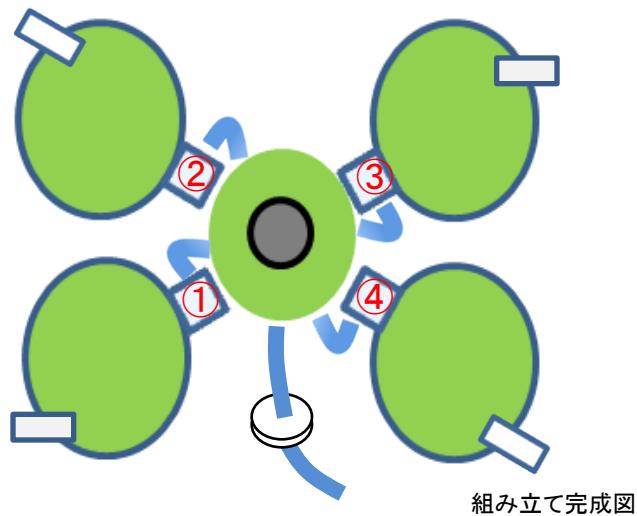


(4) 下図のチューブにバキュームフィルター、トヨロンホースを接続し、完成です。

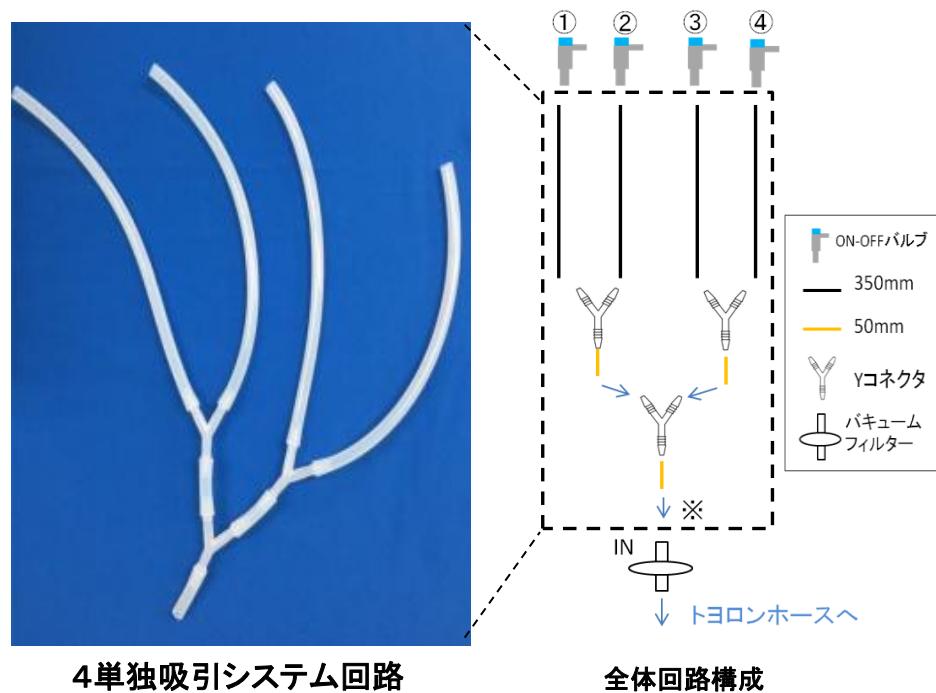


II. 4単独吸引システム

ON-OFFバルブの切り替えにより、キャニスタ1個から4個の単独吸引まで可能です。
(ON-OFFバルブがONのバッグにのみ吸引されます。)



回路構成

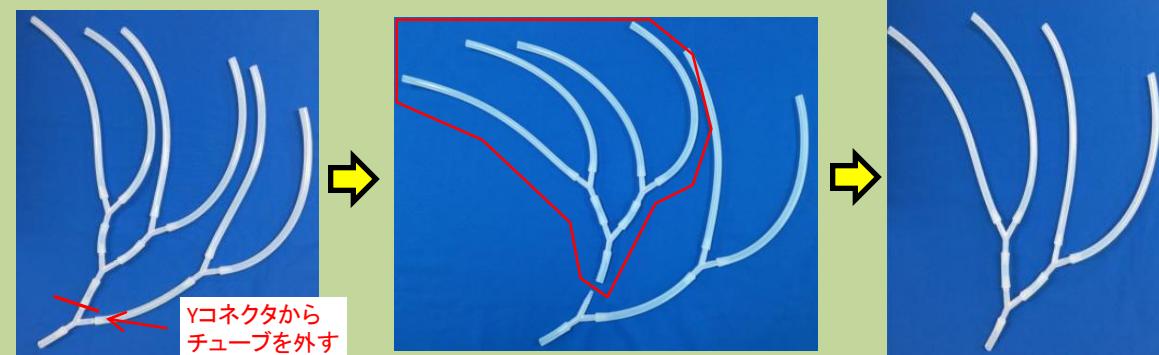


組み立て手順

(1) トローリーにキャニスタを取り付け、各キャニスタにON-OFFバルブを取り付けます。



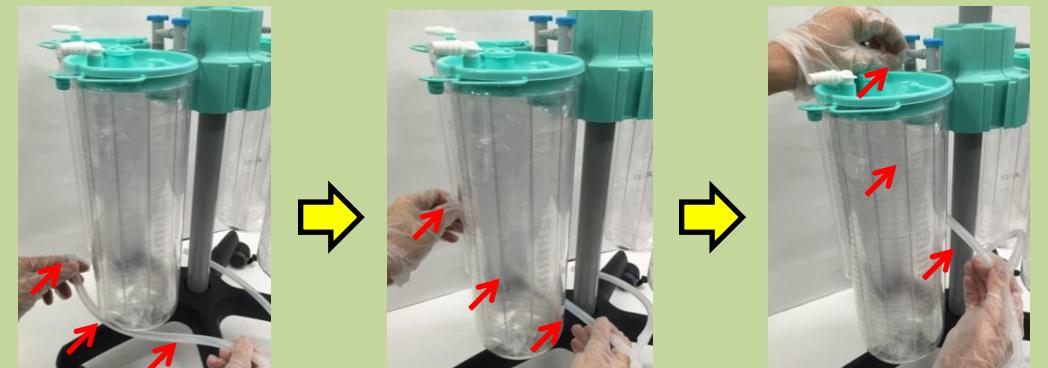
(2) 下図のように接続を外し、4単独吸引システムの回路を用意します。バルクタイプでは【回路構成】の項を参照して組み上げて下さい。



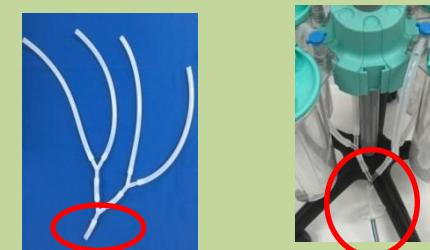
組み上げタイプの回路

4単独吸引システム回路

(3) 完成図の①~④の順番でチューブをキャニスタの下から通すようにしてON-OFFバルブに接続します。(回路全体が支柱を中心に時計回りに巻きつくような形になります。)

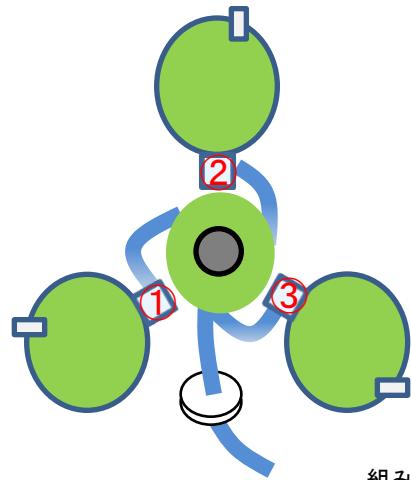


(4) 下図のチューブにバキュームフィルター、トヨロンホースを接続し、完成です。



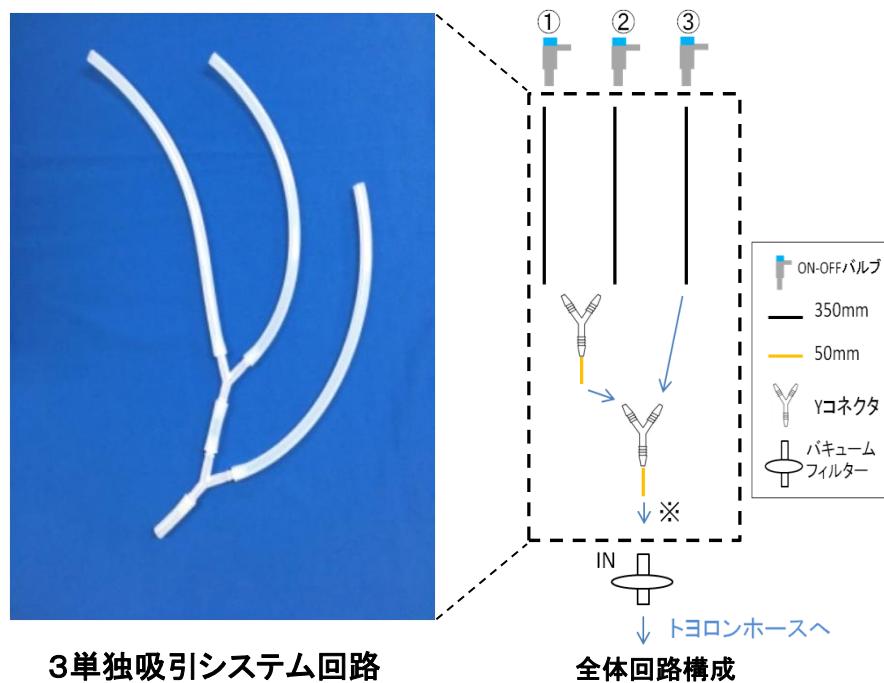
Ⅲ. 3単独吸引システム

ON-OFFバルブの切り替えにより、キャニスタ1個から3個の単独吸引まで可能です。
 (ON-OFFバルブがONのバッグにのみ吸引されます。)



組み立て完成図

回路構成



組み立て手順

(1) トローリーにキャニスタを取り付け、各キャニスタにON-OFFバルブを取り付けます。



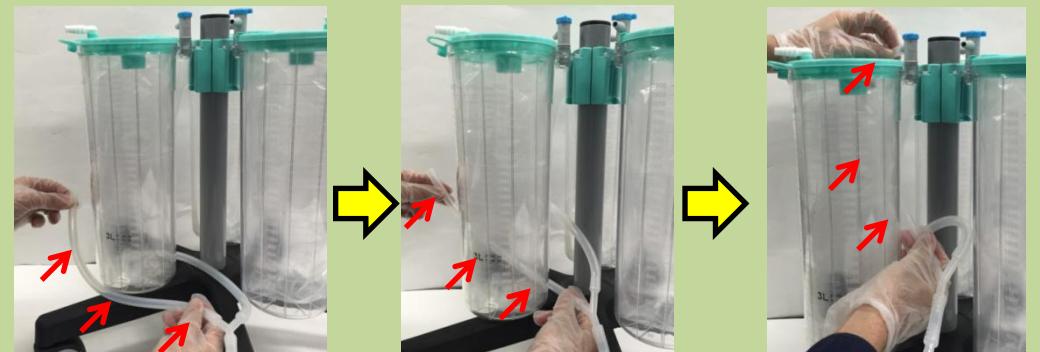
(2) 下図接続を外し、チューブを接続し直して3単独システムの回路を用意します。バルクタイプでは【回路構成】の項を参照して組み上げて下さい。



組み上げタイプの回路

3単独吸引システム回路

(3) 完成図の①~③の順番でチューブをキャニスタの下から通すようにしてON-OFFバルブに接続します。(回路全体が支柱を中心に時計回りに巻きつくような形になります。)

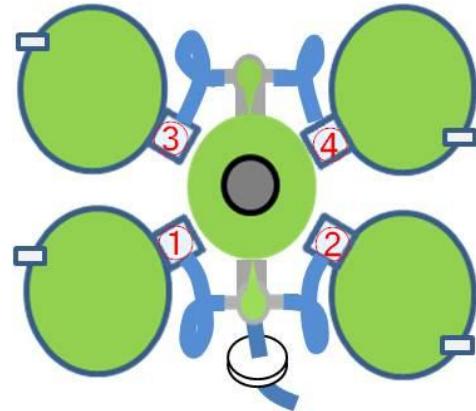
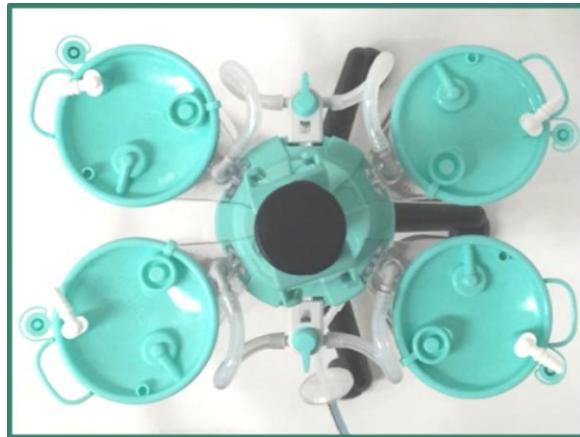


(4) 下図のチューブにバキュームフィルター、トヨロンホースを接続し、完成です。



IV. 4単独吸引システム (シフトバルブ使用パターン)

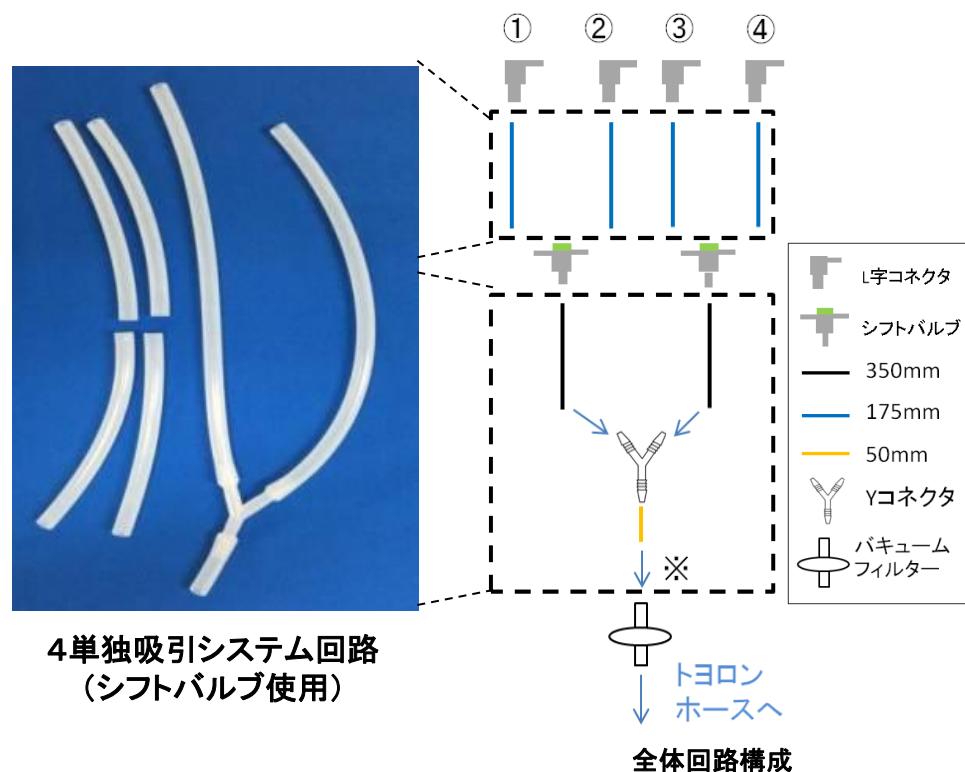
シフトバルブの使用により回路を簡略化したキャニスタ4個の単独システムです。ON-OFFバルブ使用時と同様にキャニスタ1個から最大4個の単独吸引まで可能です。



組み立て完成図

	上 (本体「OFF」表記)	左 (本体「◀」表記)	右 (本体「▶」表記)	下 (本体「◀▶」表記)
動作	吸引OFF	左側のみ吸引	右側のみ吸引	両側吸引

回路構成

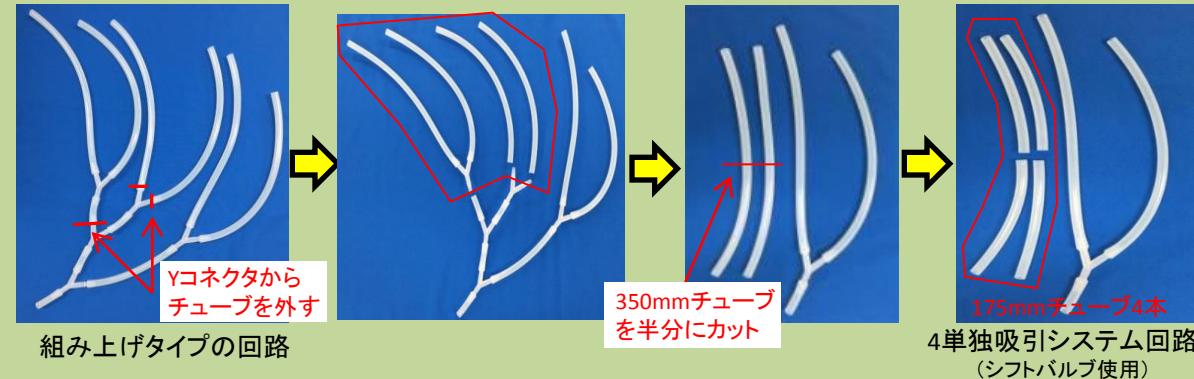


組み立て手順

- (1) トローリーにキャニスタを取り付け、各キャニスタにL字コネクタを取り付けます。
(新品のキャニスタには初めからついてきます。)



- (2) 下図のように接続を外し、4単独吸引システム(シフトバルブ使用)の回路を用意します。バルクタイプでは、下図と同様に350mmチューブを半分に切って175mmチューブを4本用意し、【回路構成】の項を参照して組み上げて下さい。



- (3) シフトバルブをホルダーにセットし、Y字の回路の350mmの各シリコンチューブをシフトバルブの吸引源接続口(右図参照)に接続します。



- (4) 完成図の①～④の順番でL字コネクタとシフトバルブとを175mmのシリコンチューブで接続します。(先にシフトバルブにチューブ繋ぎ、チューブの他端を摘んで捻るようにしてL字コネクタに接続するとキンクしにくくなります。)



- (5) 下図のチューブにバキュームフィルター、トヨロンホースを接続し、完成です。

